



STOP! 介護崩壊 介護ウェーブ2010 推進ニュース

— 介護ウェーブの “Big Wave” をおこそう! —

方針「今後の介護ウェーブの取り組みについて」を具体化し介護改善要求の声を国会に届けよう!

介護のやりがいとは「利用者の『ありがとう』の言葉である! 「第2回ヘルスコープおおさか介護職集会」(3月27日)に120名が参加(大阪)

2010年3月27日(土) 14:00~鶴見区民センター小ホールにて行われた「第2回ヘルスコープおおさか介護職集会」は、第1回を上回る、120名の介護職が参加して大いに盛り上がりました。

プログラムは実行委員長・専務の挨拶から始まり、事前にヘルスコープおおさかの介護職369人の方から回収した、アンケートの集約報告を行いました。その中で介護のやりがいとは「利用者の『ありがとう』の言葉である」が一番多く、やっぱりその言葉やなぁと皆共感しました。

医療生協かわち野の矢島さんは、現場発信の解りやすい講演で、時には笑いがあり、また身内のお話には驚きの声も上がりました。それらを受けての、グループ討論会では普段話さない職場との意見交換や現場での疑問、想いをぶつけ合う白熱したモノとなりました。今回は、席を同じような職場が固まらないように指定したり、グループごとの討論の報告と司会を1番若い人、まとめと書記を1番年齢の高い人とするなど、新しい試みも行い効果があったのでは?と考えます。



終了後は、「おおさかパルコープ鶴見店」前での介護ウェーブ署名活動に43名の方が参加しました。短い時間でしたが、100筆の署名があつまりました。仕事が終わってから駆けつけられた方も多数で、介護の取り組みが着実に浸透していっているように感じました。介護ウェーブは利用者の生活を守ると共に、介護職の生活をも守るための活動として、今後も支部・診療所などで定期的に開催するなど積極的に参加し、大きなウェーブを起こしていきたいです。

(ヘルスコープおおさか介護事業部 のちにきら vol.11 2010年4月より)



沖縄の伝統行事「シーミー」にかちあったにもかかわらず100人余りの参加 九州・沖縄地協介護部門責任者会議に併せて「介護情勢学習会」を開催(沖縄)

4月18日、沖縄協同病院において「介護情勢学習会」が、林泰則全日本民医連事務局次長を招いて開催されました。これは九州・沖縄地協介護部門責任者会議が沖縄にて開催されることに併せて実施されたものです。林次長の講演は『介護保険10年と制度見直しの課題』で、この10年間を検証し、介護保険を真に国民のものにするには今後どのような対応・運動を進めたらいいのかを豊富な資料で丁寧に説明しました。参加者からは「話は大変良かった」「10年の動きが分



かった」「問題点、課題が見えてきた」「現場の人たちが声を上げていく必要がある」「国は社会保障・福祉にもっと金を回してほしい」等の感想が寄せられます。

当日は日曜日で、また沖縄の伝統行事「シーミー」にかちあったにもかかわらず、100人余りの参加で、当初予定した会場の席は満席となり、椅子を継ぎ足すことになりました。生協事業所・地協以外からも19人が参加し関心の深さがうかがえ、今後の運動に繋げていけたらと思っています。

(2010年4月21日 沖縄民医連 比嘉さんより)

カーネーション500本を署名に協力してくれた方に配布し、華やかな宣伝行動 4月10日に名古屋市栄町で介護ウェブ宣伝・署名行動を開催！50名が参加(愛知)



愛知でのドクターウェブ・ナースウェブ・介護ウェブは、この間、春・秋の時期に医労連、自治労連と共催で白衣の署名・宣伝行動、パレードを名古屋市栄町で取り組んできました。この春は、3月14日の県民集会前段で開催し、全体では94名、民医連職員は41名が参加しました。署名は介護署名・後期高齢者署名など4種類をあわせて700筆が集まりました。リレートークでは民医連医師からも労働条件や医療・介護の改善の訴えがされました。

今月は4月10日に同じ場所で介護ウェブ宣伝・署名行動を開催し、介護事業所の職員を中心に、民医連からは26名が参加しました。全体では50名の参加です。4月に入職した介護職員も参加し、初めての繁華街での宣伝・署名行動となりましたが、介護署名310筆を含めて794筆が集まりました。両日ともカーネーション500本を署名に協力してくれた方に配布し、華やかな宣伝行動となりました。

(2010年4月14日 愛知県民医連 煤本恵さんより)



お問い合わせは、「介護ウェブ推進本部」事務局：山平・名波まで

TEL 03-5842-6451 / FAX 03-5842-6460 / E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp